

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 13 日

事業名称		戸籍事務費[戸籍関係事務]														
予算科目	款	2	総務費	項	3	戸籍住民基本台帳費	目	1	戸籍住民基本台帳費	事業番号	2					
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの														
担当部署・課長名		市民課				課		戸籍係		係 課長名 梶川義夫						
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2						
【施策名】 効率的でスリムな行政運営の実現								総合計画書(ページ)		122						
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)										
	戸籍届出 →					本籍数(3月31日現在)										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)										
	正確に戸籍に記載し、素早く証明を発行できるようにする。 →					届出処理件数										
3	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)										
	届出受理後、平日中3日以内に証明書を出せるようにする。 →					戸籍証明書の発行件数										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標								
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標								
	対象指標	①の数値	件	27,258	27,432	27,643										
	成果指標	②の数値	件	3,713.0	3,877.0	3,524.0										
	目 標	②の目標値														
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)																
3 経費	事業費(実績)		円	21,312,543	22,357,434	35,092,162	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)									
	財源	一般財源	円	12,614,243	13,924,784	27,741,762										
		特定財源	円	8,698,300	8,432,650	7,350,400										
		(うち受益者負担)	円	8,698,300	8,347,650	7,267,900										
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5.0	5.0	4.0										
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	1.0										
		職員人件費(再任用以外)	円	41,220,000	41,550,000	33,520,000										
	職員人件費(再任用)	円	0	0	3,960,000											
事業費+人件費		円	62,532,543	63,907,434	72,572,162											
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 職員の異動があった為同じ処理速度は維持できていない。 令和2年4月から窓口業務等委託を実施し、民間のノウハウ等を活用する。															
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 戸籍経験が長く異動に近い職員について、庶務を担当してもらう。 その職員に頼らずとも、戸籍事務を行うことができるようにし、異動に備える。 各マニュアルを作成し、職員の異動時の処理速度の低下を抑えるようにする。															